

第 25 回 鈴鹿 F 1 グランプリ 地域活性化協議会 議事要点録

日 時：平成 30 年 8 月 7 日（火）14 時 00 分～15 時 20 分

場 所：鈴鹿市役所 本館 12 階 1203 会議室

出席者：37 名（別紙『組織構成及び出席一覧表』参照）

組織委員 31 名（全 37 名中 出席 18 名，代理 13 名，欠席 6 名）

事務局（鈴鹿市）6 名

内 容：以下のとおり（要旨）

1 あいさつ

【鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 会長 鈴鹿市長 末松 則子】

- ・第 25 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会に御出席を賜り，心より御礼を申し上げます。
- ・先日開催された鈴鹿 8 時間耐久ロードレースは，台風 12 号の影響を受け，一部イベントが中止となったが，4 日間延べ 11 万 1 千人のお客様に鈴鹿にお越しいただき，鈴鹿のモータースポーツの魅力を発信することができた。
- ・また，鈴鹿に拠点を置くチームの活躍があり，また F. C. C. T S R H o n d a F R A N C E においては 5 位入賞，かつ世界耐久選手権シリーズではチャンピオンを獲得されたので，鈴鹿から世界チャンピオンが誕生し，大変喜ばしいことである。
- ・8 月 23 日（木）には鈴鹿モータースポーツフェスティバルを開催する。イオンモール鈴鹿での様々なイベントや，全国でも最大級の規模での公道パレードを予定している。
- ・10 月の F 1 日本グランプリは鈴鹿での開催が 30 回目の節目となるが，環境整備部会，おもてなし部会の両部会において，交通渋滞の緩和や，おもてなしの向上を図るために，様々な施策に取り組んでいただいている。観戦者及び地域住民が満足いただけるよう，協議会の皆様方としっかりと連携し，取組を進めていく。

2 承認事項

（1）平成 29 年度決算及び監査報告について【資料 1】

【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・平成 29 年度鈴鹿 F1 日本グランプリ地域活性化協議会収支決算報告書に基づき説明。
- ・収入 10,770,763 円，支出 9,826,685 円，差額 944,078 円は平成 30 年度へ繰越し。
- ・監査の結果，収支決算書及び関係帳簿等が適正である旨を岩崎監事報告。

◎拍手多数により承認。

F 1 日本グランプリレース開催概要について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 塩津氏】

- ・本年の F 1 日本グランプリレースの開催概要について，説明申し上げます。
- ・今年の開催日程について，10 月 4 日から 8 日までの 5 日間であり，10 月 7 日が決勝となっている。鈴鹿での開催が 30 回目の記念大会となる。
- ・現在 12 戦まで進んでおり，ドライバー，チームのポイントランキングは資料のとおり

りである。

- ・今年からホンダはトロロッソとタグを組んで、ピエール・ガスリーが13位、チームが8位である。ハンガリーGPでは6位、バーレーンGPでは4位となり、表彰台まであと1歩のところまできている。
- ・スタート時間は、予選は昨年同様、決勝は10分遅くなり、14時10分となっている。
- ・30回目の記念大会ということで、入場券を記念に残るプラスチック製のアニバーサリーチケットとしている。
- ・様々な重点施策を計画しており、過去30回の中で活躍したヒストリックF1マシンのデモレースや展示を実施予定である。
- ・豊富なレジェンドゲストもフル活用し、ゲスト観覧型のコンテンツやゲストと一緒に体験できるコンテンツ、実況活用など、今までに実現していない企画を目指し、F1企画のクオリティを高め、満足度の向上を目指す。
- ・スペシャルエリア入場パスの販売については、今まで一部の方しか入れなかったパドックエリアを活用し、F1ドライバーやチームスタッフといった関係者がいるパドックに一番近づける特別パスとして、枚数限定で販売する。
- ・昨年も実施をしたが、お子様方に参加いただけるよう、土曜日にキッズピットウォーク、ナイトピットウォークを実施する。
- ・ブルーインパルス誘致を企画していたが、今年については、自衛隊によるフライパスは実施はなしとする。
- ・現役F1ドライバーにも協力いただき、多くの人と交流を深めていただく。GPスクエアにて360度ファンに囲まれたステージでトークショーや記念撮影を行う。
- ・スタートとゴールの演出は30回記念らしいものにする。ゴールは観客の皆さんにチェッカーフラッグを振っていただく。F1グリッドキッズを新企画として準備している。
- ・チケットの売り上げ状況については、今後も変化する可能性があるが、30回大会ということで、昨年よりも好調に売れている。来場者は昨年よりも10%ほど増えるのではないかと見ている。海外からのお客様は20%増加とこちらも増える見込みである。皆様のご協力をお願いしたい。

(2) 2018年度事業計画について

①環境整備部会【資料2】

(I) 2018年F1日本グランプリ開催時における交通円滑化施策実施について

【三重河川国道事務所 津国道維持出張所 小倉氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』1P～3Pに基づき説明。
- ・(1P 下段) 三重河川国道事務所は4つの施策を実施する。白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定、高速・国道 情報板・路側ラジオ(交通情報の提供)、コンビニ等での推奨ルートチラシ配布、Web ページで方面別所要時間提供である。
- ・(2P 上段) 白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定について、今年度は稲生町西から徳田町北の片側規制を解除するというので、現在交通規制の手続きを進めている。
- ・(2P 下段) 高速・国道 情報板・路側ラジオ(交通情報の提供)については、近隣の

高速、国道の情報板で1ヶ月前から、通行規制、F1開催時の交通渋滞に対する注意喚起を表示するよう準備を進めている。

- ・(3P 上段) コンビニ等で推奨のルートチラシ配布、およびWeb ページで方面別所要時間提供については、昨年度のF1開催時におけるプローブデータ等を活用し、昨年度の所要時間等を算出し、帰路マップに掲載やWeb で発信することを考えている。
- 以上4点を進めて参りたいと考えているので、関係機関の皆様にご協力をお願いしたい。

(II) 鈴鹿 F1 日本グランプリ 2018 への取り組みについて

【近畿日本鉄道株式会社 高橋氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』4P～5Pに基づき説明。
- ・臨時列車については、窓口で告知に努めているが、なかなか利用率が上がらないため、利用の少なかった大阪方面の臨時特急を1本減らす。
- ・駅コンシェルジュは今年も配置し、窓口での応対時間の短縮、混雑緩和を図る。
- ・旅客整理についても、前年同様に、西口エスカレーターと階段の使用を制限し、導線の確保を行う。また、主要駅の自動券売機にて往復乗車券を販売し、混雑緩和を図る。
- ・駅前ロータリーに仮設トイレも設置予定である。
- ・駅的美装化として、図のとおり、改札口、ホーム待合室、階段にモータースポーツをイメージさせる装飾を行った。

(III) 2018 年鈴鹿 F1 日本グランプリについて

【伊勢鉄道株式会社 富澤氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』6P～8Pに基づき説明。
- ・(6P 上段・下段) 臨時列車運転・鈴鹿サーキット稲生駅の臨時停車については、ほぼ昨年並みである。
- ・利用の少なかった土日のお帰り時間帯の、特急の臨時停車のみ取り止める。
- ・具体的な時刻については、JRグループと合わせているので、特急列車については8月24日午後、快速列車含めたその他の列車については、9月上旬頃にホームページで発表予定である。
- ・(7P 上段) インバウンド対応については、2017年12月より、伊勢鉄道のすべての普通列車で、英語による社内案内放送及び英語による次の停車駅案内表示を実施している。
- ・JR東海の施策ではあるが、特急列車のグリーン車については、無料wifiサービスが提供されている。
- ・(7P 下段) 鈴鹿サーキット稲生駅について、駅階段を出ると当社の用地外となるため、地元自治会、警察、当協議会等にご協力を賜り、観戦者の皆様が快適にご利用いただけるよう利用環境の向上を図る。臨時乗車券販売所、仮設トイレ、仮設照明は今年も設置予定である。
- ・(8P 上段) その他の提案として、サーキット稲生駅や白子駅において、長年にわたって、当協議会のおもてなし部会を通じて、通訳ボランティアさんにきていただき、外国の方に対して、通訳や情報提供で活動いただいているので、感謝の意を込めて協議

会として表彰してはどうか。

(IV) 平成 30 年度鈴鹿 F1 日本グランプリ輸送計画 (案)

【三重交通株式会社中部観光営業所 内山氏】

- ・資料 2『環境整備部会資料』9P に基づき説明。
- ・10 月 5 日～7 日の 3 日間、白子駅西口から鈴鹿サーキット臨時駐車場までの間、シャトルバスを運行させていただく。5 日については、6 時から 18 時、6 日については、6 時から 20 時、7 日については、6 時から 19 時 45 分までの運行時間を予定している。
- ・運行経路については、三重河川国道事務所様、鈴鹿警察署様、各関係機関の協力を得て、中勢バイパスをシャトルバス専用として利用させていただくことを予定している。
- ・白子駅の乗降については、白子駅前商店街様の協力を得て時間帯の交通規制を実施し、乗降場所を設置予定である。
- ・乗車券の発売については、鈴鹿サーキット側で行う。
- ・バス待機場所は、本年は桜の森公園駐車場の一部をお借りする予定である。
- ・鈴鹿サーキットでの乗降については、8 番駐車場をシャトルバス専用の乗降場所として利用させていただき、ピーク時には約 70 台体制で 6 台以上の同時着車ができるよう対応する。
- ・その他として、警備会社、社員を各主要地に配置して安全確保を図っていくとともに、IC カード導入して利便性向上に努めていく。
- ・今年度も大量輸送に向けて、皆様のご協力をお願い申し上げます。

(V) 2018 鈴鹿 F1 日本GP 対策案

【中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンター 志岐氏】

- ・資料 2『環境整備部会資料』10P・11P に基づき説明。
- ・鈴鹿サーキットの玄関口である鈴鹿 IC 付近の渋滞緩和を目的とし、昨年同様の対策をとっていく。
- ・(10P 上段・下段) 二つ目に、高速道路の迂回推奨で、高速道路の鈴鹿 IC が混雑することから、その手前の、四日市東 IC、みえ川越 IC、亀山 IC での流出の推奨ということで、その IC 出口の手前に標識車両を配備し、LED 標識で案内させていただく。
- ・昨年実績をみると、10 月 6 日 (金) に下り線が 7 時頃から出口混雑し、渋滞が発生している。
- ・(12P 上段) 表示内容については、図のとおり、ブリンク表示で周知をさせていただく。
- ・鈴鹿 IC 上下線の出口では、渋滞末尾での後尾警戒を実施する。

(VI) 交通対策について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 岡野氏】

- ・資料 2『環境整備部会資料』12P～13P に基づき説明。
- ・(12P 下段) 駐車場は、昨年同様で、直営駐車場と民営駐車場あわせて、把握してい

る数ではあるが、13,300台用意する。

- ・(13P 上段) 園内のレイアウトについても昨年同様である。P8において、シャトルバス専用乗降所をご用意させていただく。
- ・(13P 下段) 情報提供についても、公共交通機関各社様とリンクや海外のお客様への案内も含め、昨年同様のかたちで進めていきたい。
- ・(14P 上段) 昨年からの変更点になるが、みそのモータープールシャトルバスについて、昨年は2日間で時間を限定して運行していた。今年については、3日間の運行を予定している。大変好評で、お客様からも便利と声をいただいている。
- ・(14P 下段) 交通規制について、こちらも昨年からの変更点となるが、昨年は×印の地点で交通規制を行っていたが、今年は右上図のような誘導看板を掲示する。迂回についてのお願い、というかたちで交通誘導を行う。

(VII) CNS 情報カメラについて

【地域資源活用課 岡田】

- ・資料2『環境整備部会資料』16P～18Pに基づき説明。
- ・ケーブルネット鈴鹿様の取組について、事務局よりご報告申し上げます。
- ・スマートフォンアプリを使ったサービスを提供されており、その機能のひとつとして、市内外に設置された情報カメラを通して、現地の様子を見ることができる。
- ・カメラの設置場所は、鈴鹿市から四日市、菰野、いなべまでと広域にわたっており、市内の主要19箇所については、資料に掲載されているが、そのなかでもF1期間については、サーキット道路、F1マート前、汲川原橋のカメラが渋滞情報の確認に役立つので、協議会としても利用させていただく。

(VIII) 2018 鈴鹿F1 日本グランプリ 救急救護体制及び火災対応体制について (案)

【鈴鹿中央消防署 北川氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』19P～23Pに基づき説明。
- ・昨年の変更点としては、救護所を1箇所減らす。ヘアピンカーブとスプーンカーブの救護所を1箇所に統合する方向で調整を進めている。それに伴い、人員も1名ずつ減となる。
- ・(23P) 救護本部にて、STECとテクニカルセンターに各1台、救急車を配置し、救急搬送に備える。
- ・有事に備え化学車を1台設置予定である。
- ・救護本部には医師、看護師の配置も調整しているので、医師会様にご協力をお願い申し上げます。
- ・昨年は救急車の搬送が2件だったが、今年は例年になく暑さのため熱中症による患者が増えないか危惧はしている。サーキット様と最終調整を行い、熱中症対策について会場で注意喚起していく。

(IX) 鈴鹿F1 交通円滑化 2018年度実施計画 (案) について

【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・資料2『環境整備部会資料』24P～31Pに基づき説明。

- ・この交通円滑化については、2009年から2011年までの3年間、国土交通省三重河川国道事務所様において、鈴鹿地区交通円滑化の社会実験を実施していただいております、2012年からは当協議会が事業を引き継ぐ形で実施しており本年で7年目となるものである。
- ・(25P 上段) 交通円滑化の目標について、昨年の来場者数を考慮し、来場者数最大15万人を想定し、鈴鹿周辺の渋滞解消時間については、鈴鹿市内の速度低下時間を4時間程度、公共交通機関の分担割合を31%以上、決勝日におけるボトルネックである鈴鹿ICの利用割合を20%以下と設定した。
- ・(25P 下段) 目標達成に向けた交通円滑化施策メニューについて、公共交通機関、自動車交通ほか、一覧のとおり、昨年と同様の取り組みを考えている。
- ・シャトルバス専用レーンの運用について、昨年同様のルートの設定に向けて関係機関と調整中である。また、中勢バイパス第7工区が、平成30年度に供用開始されることを踏まえ、今後のシャトルバスルートの設定や、交通規制について、検討しながら実施していきたいと考えている。
- ・(26P) F1協議会のホームページについて、昨年は、上段のとおり、年々増加する外国人観戦客への対応として、外国語表記の案内をさらに充実させ、情報発信を強化した。今年度については、下段のとおり、トップページを大幅に改修し、情報を目に付きやすい場所に配置することで、より効果的にホームページを活用し、利用者の満足につなげていきたいと考えている。
- ・(27P 下段) 2017年の交通円滑化施策の目標の達成度は、鈴鹿周辺の渋滞解消時間、及び、公共交通機関分担割合ともに目標を達成することができたが、鈴鹿IC利用割合のみ、目標を達成することができなかった。
- ・(30P 下段) 臨時シャトルバス専用レーンに伴う交通規制案について、この取組は、近鉄白子駅と鈴鹿サーキット間を結ぶシャトルバスを走行させるにあたり、中勢バイパスを交通規制し、専用バスレーンとすることで、円滑な輸送を実現するものである。
- ・概要としては、F1開催時の10月6日(土)(予選)と10月7日(日)(決勝)において、6時から20時まで、決勝日については21時まで交通規制を実施予定である。
- ・(31P) 上段が2017年の交通規制実績、下段が2018年の交通規制実施(案)である。
- ・昨年は、中勢バイパスと県道鈴鹿亀山線との「野町西」交差点から「稲生西」交差点までの区間は上下線を、「稲生西」交差点から「徳田町北」交差点までの間は上り線を、それぞれの時間規制し臨時シャトルバスレーンとした。
- ・今年、規制を緩和する方向であり、「稲生西」交差点から「徳田町北」交差点までの間の片側規制と、「稲生高校北」交差点や、「稲生西」交差点周辺の指定方向のついた規制の解除を検討している。
- ・車の流れは変えないために、パイロン等を用いた物理的な誘導は例年どおり継続する。規制を解除することで、通りたい車は通せるようになり、より柔軟な対応が可能となる。
- ・規制緩和の理由としては、人的な負担の軽減、近隣住宅への配慮などがあるが、近年の交通状況を見ても、シャトルバスルート確保には大きな影響は無いとみている。
- ・今後、この規制案について、地域の自治会様、三重河川国道事務所様、鈴鹿警察署様、鈴鹿サーキット様と協議しながら、臨時シャトルバスレーンの設置に伴う交通規制を

決定して参る。

- ・各関係機関の皆様には今年度もご協力いただくようお願いする。

②おもてなし部会【資料3】

- ・資料3『おもてなし部会資料』1P～12Pに基づき説明。

【鈴鹿市 地域資源活用課 小野】

- ・(1P下段) 10月5日から7日までを重点期間として、各種おもてなし事業を実施する。

【鈴鹿商工会議所 酒井氏】

- ・(5P上段) 通訳ボランティアブースを10月5日から7日までの期間実施する。ブースの設置場所は、近鉄白子駅、伊勢鉄道鈴鹿サーキット稻生駅、鈴鹿サーキット園内鈴鹿商工会議所青年部ブース内を予定している。
- ・白子駅のブースは、8時から21時まで開設し、午前、午後、終日の3班体制にて実施する。
- ・鈴鹿サーキット稻生駅のブースは、8時から20時30分まで開設し、午前、午後の2班体制で実施する。
- ・青年部ブースは、9時から16時まで、担当者が終日対応する。
- ・今年、ボランティアスタッフとして活動いただく方は、49名を予定しており、昨年よりも3名増加となる。

【鈴鹿市 地域資源活用課 小野】

- ・伊勢鉄道さんからの提案である、通訳ボランティアとして長年活動いただいた方への表彰については、事務局として、表彰に向けて進めていきたいと考えている。
- ・委員の承認を得られたので、実施に向け、表彰の時期、方法等を検討して参る。

【鈴鹿商工会議所青年部 矢田氏】

- ・(5P下段) 昨年は、F1決勝の翌日におしごと体験を実施したが、今年は、F1開催前である、9月17日(月・祝)に実施を予定している。
- ・会場は、鈴鹿市文化会館周辺である。
- ・職業体験を通じて、鈴鹿の仕事の魅力を伝えるとともに、子供たちに夢と希望を与え、将来、鈴鹿で働きたいという気持ちをもってもらうことを目的に実施する。
- ・新たな取り組みとして、モータースポーツ車両の展示、モータースポーツ room、ピットワーク体験など、モータースポーツに関連した体験を実施する。
- ・(6P上段) 10月5日から7日まで、鈴鹿サーキット園内にブースを出展する。
- ・例年同様、メッセージオトドケ隊、くれないのチェッカーフラッグ、鈴鹿ブランドの展示などのイベントを実施する。

【鈴鹿市観光協会 舘氏】

- ・(7P下段) 10月5日から7日までの期間の7時から21時30分まで、近鉄白子駅前にある鈴鹿市観光協会にて、営業時間を延長して手荷物預かりを実施する。

- ・時間の区切りはあるが、最後の荷物を渡してから終了とする。

【ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 大石氏】

(9P 上段) 資料には、昨年の開催概要および結果を記載している。

- ・(別紙A4) 今回、極上の三重フェアと題し、5市1町の食材、県内の食材を使用した料理を提供する。
- ・飲料としては、鈴鹿の銘酒「作」の提供、F1に関連して、シャンパーニュ・カルボンを提供する。
- ・新たな取組として、F1グランプリでトロロツソ・ホンダが獲得したポイント数に合わせて、飲食代を割引するレッドブル・トロロツソ・ホンダ チャレンジというイベントを実施する。

【三重県雇用経済部観光局 小見山氏】

(11P 下段) サポート宿泊施設については、F1開催時に三重県観光連盟と連携し、取り組んでいる。

- ・津市と松阪市のホテルにサポート宿泊施設として、ご協力いただき、期間中618人の利用があった。
- ・F1関連グッズがあたる抽選会など、ご利用いただいた方に満足いただくことができたため、引き続き実施する。

(12P 上段) F1の来場者の県内周遊を促すことを目的に、三重食旅パスポートの臨時発給および押印を行い、昨年は、3日間で、630冊を発給した。

- ・今年も同様に、F1来場者に三重県の魅力を発信していく。

(12P 下段) 昨年、「MADE IN MIE」と称して、県産の農林水産物や伝統工芸品の販売を行った。今年度も出展を募り、関係機関の協力のもと実施していく。

【事務局 鈴鹿市 小野観光・モータースポーツ振興GL】

(2P 上段) イオンモール鈴鹿において、9月下旬から10月9日(火)の期間、熱田護氏のF1写真展の実施予定である。

(2P 下段) F1ジュニアピットウォークについて、10月4日(木)に実施する。

- ・昨年と比較し、1校の増加、参加者が297人増加している。
 - ・参加校に満足いただけるような事前学習や交流事業等を実施していく。
- (3P 上段) 10月4日から7日の18時から20時に、イオンシネマ鈴鹿にて、F1映画祭を開催する。

- ・昨年好評であった、「伝説のレーサーたち～命をかけた戦い～」を引き続き上映する。

(3P 下段) 鈴鹿日本グランプリ地元前夜祭については、10月5日(金)18時以降に実施予定である。

- ・天候の影響のない、屋外での実施を予定しており、トークショー等のステージイベントを予定している。

(4P 上段) 10月5日(金)、6日(土)、7日(日)に鈴鹿サーキット園地内にて三重県・5市1町 観光・物産PRブースを出展する。

(4P 下段) 観戦者に有益な情報が掲載される鈴鹿マガジンを各所で配布予定である。

(6P 下段) 鈴鹿モータースポーツ友の会様の取組について、事務局より説明させていただきます。

- ・勝速日神社と連携し、必勝の意味を込めた、オリジナルの絵馬を作成し、神社、観光協会、サーキット内ブースにて、販売する。

- ・外国人観戦者から好評を得ているので、さらなる告知・PRをしていく。

(7P 上段) F1 日本GP 観戦会は、レースだけでなく、鈴鹿のまちの魅力に触れていただくことを目的に実施する一泊二日の観戦会であり、引き続き実施する。

(8P 上段) F1 開催機運を高めるための取組として、白子駅でのタペストリーの掲示、伊勢鉄道車内でのF1 写真の展示等、関係機関と連携し取り組む。

(9P 下段) その他のおもてなし事業として、駅への仮設照明、トイレの設置、ホームページを活用した情報発信、のぼり旗の設置などを行う。

- ・新たな取組として、F1 協議会のホームページの改修に取り組み、8月1日にトップページの改修が完了した。

- ・視覚的にわかりやすいレイアウトとなったことから、今後も観戦者が必要とする情報の発信に努めていく。

(10P 上段) 新規施策として、台湾 高雄市「タロコパーク」において、F1 日本GP のPRを予定している。

- ・台湾南部、最大規模となる商業施設「タロコパーク」に、鈴鹿サーキットの国際レーシングコースと同じレイアウトのカートコースがあり、鈴鹿を連想し易い施設であることから、F1 日本グランプリのPRを実施し、鈴鹿への誘客に繋がりたいと考えている。

(10P 下段) おもてなし事業の進捗として、F1 ジュニアピットウォークに、市外の小学校からの参加があった。引き続き、参加校の増加に繋がるよう、取組の魅力を周知していきたいと考えている。

- ・6月2日に、関西圏観光PRイベント「夏は鈴鹿へ！2018」を開催した。

- ・鈴鹿の夏は、夏祭り、海水浴、登山、モータースポーツなど、たくさん見所や魅力があることから、夏休みの旅行先に選んでいただけるようPRし、会場で、F1 協議会のチラシの配布を行った。

- ・おもてなし部会として、今年度は各取組を発展させる形で、実施させていただくので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(3) 平成30年度予算案について【資料4】

【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・平成30年度鈴鹿F1 日本グランプリ地域活性化協議会収支予算(案)に基づき説明。

- ・収入、支出とも10,494,578円(詳細については資料4参照)

◎拍手多数により承認

4 その他 【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・平成30年度 協議会・部会・運営委員会の開催日程に基づき説明。

- ・F1 日本グランプリ終了後に各部会で事業を検証し、その結果を1月中旬に開催予定

の協議会にて報告させていただきたいと考えているので、皆様の出席をお願い申し上げます。

15 : 25 終了

次回開催は、平成 30 年 1 月中旬ごろを予定しております。